

1年次セミナープロジェクト

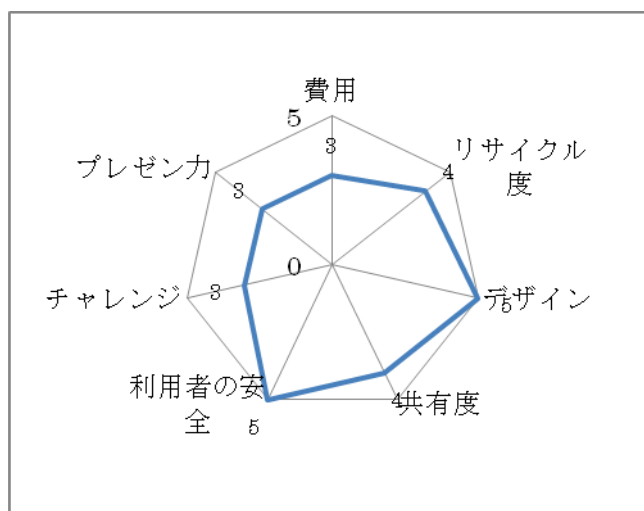
課題：幼稚園または小学校低学年を対象にした遊具／おもちゃの作成
(作品サイズは、1m×1m以内)

プロジェクト名：ダンボール絵本

対象年齢：4歳～10歳

評価規準：1-5で評価

- 費用
- リサイクル度
- デザイン
- チャレンジ（計画と準備の緻密さ）
- 利用者の安全
- 共有度
- プレゼン力（各クラスでのプレゼン）



スケジュール概要

日付	担当責任者 (各作業の責任者)	スケジュール
	リーダー	<ul style="list-style-type: none"> 各メンバーは、○日までにチーム作業に必要な行程をリーダーに提出する。 今後の連絡先などの交換。 どんなプロジェクトにしたいか、各自でブレインストーミングし、アイデアを出しまくる。
10/22	松村 全員	<ul style="list-style-type: none"> 先生に経過報告。 作品の細かいデザイン、内容等について話し合う。 材料を検討し、各自準備を始める。
10/24	全員	<ul style="list-style-type: none"> デザインを練りつつ作業開始。
	各自、もしくは何人かで集まる	<ul style="list-style-type: none"> 各自、自宅や授業の空き時間等で作業を進める。 何人かで集まれる日があれば協力して作業をする。
11/21	全員	<ul style="list-style-type: none"> この日までに完成させ、プレゼンの内容を考えておく。
11/21以降	各自	<ul style="list-style-type: none"> 改善点などを考え、各自もしくは集まって作品を改良していく。 最終発表の内容を考えておく。
12月某日	岩崎	<ul style="list-style-type: none"> 大谷先生に中間報告。 →安全性についての相談。改善点についてアドバイスを戴く。
1月	チーム全員	<ul style="list-style-type: none"> フォーマットを改善。詳細を記入。 提出のための最終確認。 最終プレゼンのための準備。

1. 費用

計画：必要な資材の予測

項目	予想金額 or リサイクル	予想調達先
ダンボール	リサイクル	スーパー
チラシ、広告等	リサイクル	自宅
ペン	0 円	各自持っているもの
ガムテープ	0 円	自宅
布	0 円	自宅
カッター、ハサミ	0 円	各自持っているもの
接着のり	0 円	各自持っているもの

調査：調達先別の資材比較

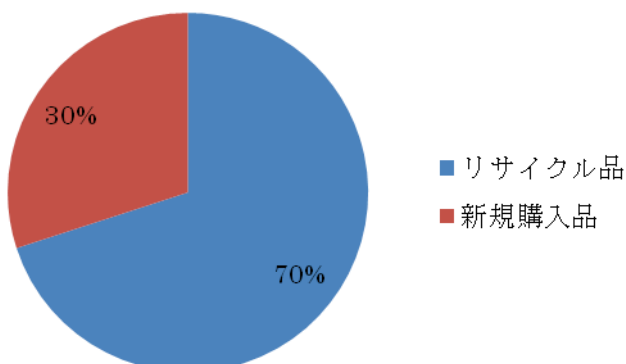
項目	実際価格 or リサイクル	調達先
ダンボール	リサイクル	スーパー
チラシ、広告等	リサイクル	自宅
ペン	200 円	各自持っているもの、もしくは買う
ガムテープ	0 円	自宅
布	100 円	自宅、もしくは買う
カッター、ハサミ	0 円	各自持っているもの
接着のり	0 円	各自持っているもの

実行：最終資材

項目	実際価格 or リサイクル	調達先
ダンボール	リサイクル	スーパー、バイト先
ペン、色えんぴつ	100 円	持ち寄り
画用紙	500 円	持ち寄り
ガムテープ、カラーテープ	200 円	半分購入、半分持ち寄り
カッター、ハサミ、接着のり	100 円	持ち寄り
牛乳パック	リサイクル	家、バイト先
マジックテープ	100 円	購入
フロントガラスのカバー (クッションとして使用)	100 円	購入

総費用： 1100 円

2. リサイクル度 (割合で表示)



3. デザイン

資料（文献、インターネット情報、専門家からの伝授）など、最終デザインに行き着くまでのデザインの変容と修正理由などを残しておく）

日付	変更前デザイン	改善後のデザイン
	別冊ノート参照	別冊ノート参照

3. チャレンジ

改善点：

日付	改善前（どこに、どんな改善が必要か）	改善後（どう改善したか）
11月21日以降	お皿などの絵に直接食材を貼る →何で貼ると子どもが安全に遊べるか	直接貼るのではなくポケットのようなものを作った
	ポケットが画用紙のみで耐久性がよくない	画用紙の裏に新たなポケットを作り、頑丈にした →またこのポケットには手触りを意識した工夫も入っている
	食材が画用紙だけで出来ているため、子どもがつぶしてしまう可能性がある。手触りがよくない	裏に何重にもしたクッションをつけ、厚みをつけた。 これによりつぶされても問題なくなり、手触りもつけたことで良くなった
	作品同士を貼った時に隙間がかなりあった→子どもははがそうとする為	はがれないようにしっかりと貼り付ける はがれると思わせるようなつけ方をしない
	表紙と裏表紙の角が尖っているため、子どもたちの目に入ったりしたらとても危険	角をカバーするような形で発泡スチロールまたはスポンジを合わせて丸くカットし、利用する

チームワーク：

チームプロジェクトから学んだこと	チームプロジェクトで苦労したこと
互いに意見を言い合うことでそれぞれ考え方の違いがあり、そういう考え方もあるのだなと感心できる部分があった。	なかなか全員で集まれず互いにアドバイスなどが出来なかった。
子どもの視点に立って考えることの重要性を実感することができた。	個別作業が多く、協力して作業する時間を作れなかった。

5. 利用者の安全

安全管理：予測可能なリスクを列挙し、そのためにどのような対策を練っているか書く。

想定できるリスク	リスク回避の方法	具体的に用意するもの（安全マニュアルなど）
口に入れる	サイズを大きくする 厚みをつける	スポンジ
手を切る	角を丸く、 ビニールテープで補強	テープ
作品が大きいのので 足に落とす	素材をなるべく軽くする	牛乳パック
角が尖っているの で刺さる	発泡スチロールまたはスポンジ を丸くカットし、角に丸みを付ける	発泡スチロールまたはスポンジ

6. 共有度

（どのような遊び展開が可能か？何人一人までが利用できるか？どのような遊びを提案できるか？）

- ・1人～大人数利用可能
- ・子ども同士でどの料理にはどの材料が必要かなどを勉強できる。
（考えるという勉強にもなる）
- ・家庭でのコミュニケーションを図ることができる。
- ・幼稚園などで教材として使用できる。

7. プレゼンカ

報告計画：クラスでの報告、または担任への個別報告した内容と担任からの指導内容など

日時	報告担当者 (1人1回は報告)	報告内容（進行状況、課題、課題 解決の方法案、今後の予定など）	担任からのアドバイスなど
10/22	松村	進行状況、スケジュール、費用、 材料	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの年齢に応じた遊び方、低年齢の子への危険性はないかを考え、対策する。 ・デザインを早めに決定。 ・子どもが何を学べるかも考える。
11/20	岩崎	進行状況、	・明日までに、作品をしっかりと完成させ

		プレゼンについてのアドバイス	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザイン等は問題ないが進行状況が少し遅れ気味なので、しっかり予定を立てる。 ・プレゼンを円滑に行うために、チームでリハーサルを何度も行う。
11月 某日		改善点のアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・対象年齢の子どもたちがどんな行動をとるか、特徴を具体的に教えてもらう。(手触りが大切。)
12/22		改善点のアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・先生の絵本を見て、市販の物はどこに気をつけているか。 ・作品に剥がれるところがあると、子どもはそこから剥がしたくなる。だから、しっかりと貼り付けること。 ・取り出せるところなどを多くつけばもっと子どもに合うものになるのでは。 ・もし改善することが難しい場合は、対象年齢をあげる。 ・チームで頑張って作品を完成させる。
1/23		最終プレゼン	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンで一番伝えたいことをしっかりまとめて、どこをどう改善して良いものになったのかをアピールできるようにする。 ・自分たちがどんなところに苦労したか等も説明出来るようにする。

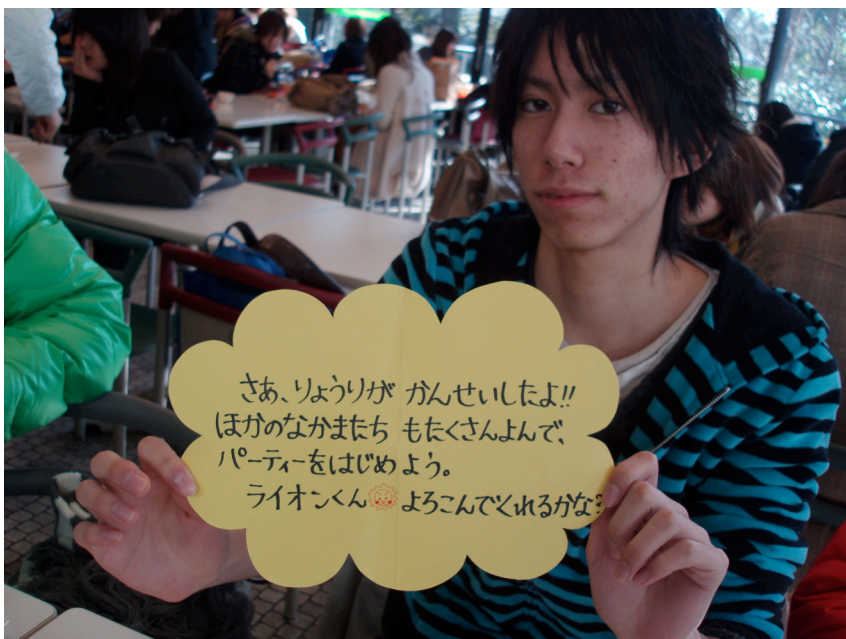


作業風景！

食材に厚みをつけて触り心地をよくした。
また、画用紙だけの時よりはがしやすくした。



以前セロハンテープだったところだが、
誤飲等の問題があったために、
はがしやすさも考えてマジックテープに
改良！
土台につけたほうがはがれやすかったの
で少し改良が必要。



小さい子どもたちが読みやすいよ
うに、字を大きく、太くした。